



市民のひろば

まちの声

◆平和への願い(第4回 かみかみクイズ応募から)

今、普通に毎日生活できていることが平和であるあかしかし、幸せだと思います。

『みんなは地球人の自覚で、笑顔を忘れない世の中になつたらなと思います。』

余裕のない生活ではあるが、このささやかな日々がずっと続きますように。

親が子ども、子どもが親を人が人を殺すこの世の中、いつになつたらこのようない事がないのか。

過去の過ちをきちんと学び、同じ過ちを繰り返さないために何をしなければならぬか、一人ひとりが考え、国として国際社会へ伝えていかなければならないと思

います。他者を理解し、自分たちと違うところを認めていくこと。話し合いをじっくりすることが大切だと思います。生命・人権が守られる世の中になつてもらいたいです。

僕はまだ中学生なので、授業で平和のことについてやっていて、話を聞くだけでも恐ろしくて驚きました。そんな恐ろしい戦争を、世界ではまだまだしているの

で早く『戦争』『核兵器』という言葉が無くなつてほしいです。

小学校の頃から戦争について学んできたが、広報に載っていたような体験を読んだり、聞いたりする度に当然のようにある今の平和は

大事なものと改めて感じる。香美市に平和活動があることも初めて知った。

3〜4歳(昭和19〜20年)



作:山田高校マンガ部

頃、高知市が戦争で一面火の海になった事、そして食べ物のない時代を過ごしました。終戦から65年が経つた今、平和で楽しく生活できることは大変しあわせに思います。

昭和19年より20年8月の終戦まで、学徒動員で防空監視哨に勤務。現空港を爆撃する米機を目の当たりに、操縦機内のアメリカ兵のマフラーマで、まざまざと見え

ました。命惜しいとは思わぬ10代の学生でした。今平和はありがたく、戦争はゼツタイいやです。

小学校1年の授業中でした。舟谷山の池が光り、B29が爆弾を落としました。当時は、片地小の運動場に防空壕が作られ、遠くから通う者はここへ、神母ノ木の者は、自宅の防空壕へ避難し

ました。今でも忘れることはありません。

戦争を知らない年齢ですが、今も世界中で戦争がおきています。日本の平和がいつまでも続くことを願います。

掲示板

◆山小まつり

楽しいイベント盛りだくさん。遊びに来ませんか！

【日時】12月5日(日) 10時30分〜14時00分

【場所】山田小学校

【内容】

- ・各学年別の催し
- ・バザー
- ・地域の方々の出店
- ・大ピンゴゲーム
- ・もち投げ
- ・体育館ステージを中心とした皆さんのイベント

【問い合わせ先】

山田小学校 ☎53・3185

◆第9回刃物供養菜祭

【日時】12月4日(土)〜12日(日) 平日 8時30分〜17時 土・日 10時〜16時

【場所】(協)土佐刃物流通センター(土佐山田町上改田)

【催し】

- ・不要になつた刃物の供養
- ・リサイクルBOX設置
- ・再生品のオークション
- ・供養作業実演 (土・日の11時〜)
- ・刃物研ぎ 200円 (ZAKURI商品は無料)
- ※土・日依頼分は、当日返却。平日依頼のあつた物およびハサミ類はお預かりし、後日返却します。

【問い合わせ先】

(協)土佐刃物流通センター ☎52・0467 (土佐打刃物技伝職集団 ZAKURI)

田姓は、岡田啓吉宜稔(以蔵の実弟)の1名で、故意に署名させなかったとも考えられる。文久2年、参勤交代で大坂滞在時、東洋暗殺者探索で在坂していた横目付井上佐市郎を殺害し、さらに幕府間諜など13名を暗殺した。一連の首謀者は、京都土佐藩邸応接役の瑞山と言われる。文久3年1月、以蔵は勝海舟の門下に入り、護衛役を勤めていた。8月、京都で刺客3名が海舟を襲撃時、抜き打ちで斬り下げて地に這わせた。

「岡田君、見事な腕だが無益な殺生は止めた方がいい」とたしなめられたが、「私が斬らねば先生が斬られていましたよ」と、応じたと言われる。

8月18日の政変で、公武合体派が権力を掌握すると、海舟の元を離れ、土居鉄造と称して潜行した。

(香美史談会)

【参考】愛知県 會田由佳さん 調べ



岡田家先祖墓(土佐山田町神通寺)

香美史記 探訪記

第18回 よしふる 岡田以蔵宜振 (土佐山田町神通寺)

人斬り以蔵と呼ばれた岡田以蔵の本家は、土佐山田町神通寺にある。武市瑞山(半平太)の遠祖は伊予国で、家来であった岡田家も共に土佐に来て、長宗我部家に仕えた。岡田家は豪農で、天明6年(1786)に郷士に取り立てられた。以蔵の父・義平は、家老桐間家に仕えており、以蔵は天保9年(1838)、義平の長男として、高知市相生町で生まれ、嘉永元年(1848)足軽となった。身分は下級であり、剣術や学問は独習し、道場剣術に無い独自の太刀筋を生み出したと言われる。安政2年(1855)、武市道場に入門すると、瑞山は剣術の素質を見抜き、愛弟子とし、以蔵はこれに絶対服従で応えた。瑞山に随伴し、江戸の桃井道場に入門し、鏡心明智流中目録を取得した。安政5年に帰藩すると、終身2人扶持を給されている。藩内では徳弘董斎に入門し、西洋砲術を学び、成績が優秀だったらしく、徳弘文書砲術稽古名簿の2番目に以蔵の名が見える。万延元年(1860)、瑞山は以蔵を帯同し、8カ月、西国を遊歴して剣の修行を行っている。以蔵著の道中控諸藩剣客歴訪の日程が残されている。文久元年(1861)吉田東洋が暗殺され、土佐勤皇党が結成され、192名の血盟者が参加したが、岡

ただいま留学中

チュウ 楓 (中国・ハルビン市)

私は電子・光システム工学博士後期課程の2年生で、2008年の10月に中国の長春にある大学から来ました。今は半導体デバイス研究室でイオンビームと光学を研究しています。早いもので、高知に来て、もう2年になります。研究論文を書いて、アメリカのダラスで開かれた国際学会で発表する機会も得ました。

物の「だこ」など、ないですから……」 「パンダは「だこ」を食べるの？」 「そうだよ、まさか、知らない？」 相手は複雑な表情をしながら初耳だと言いました。今、そのことを思い出すと笑ってしまいますが、

外国人の僕にとっては、来日の前はもちろん、来日後も、いろいろな不安を抱いていました。研究領域についての不安もあつたし、日本語もできませんでしたから。いわば、左も右もわからなかった。日本語の失敗もたくさんしました。一つ挙げます。ある日、日本人の友達とパンダについてしゃべっていました。相手は故郷にパンダがいるかと言きました。

「いないよ。僕の故郷は北の方ですけど、パンダの食

